



こしがや ぼんていあ 会報



越谷市ボランティア連絡会 会長 会田 眞理子

今期を振り返り・・・

春とはいえまだ寒い日が続く折から、皆様には穏やかに過ごしのことと存じます。また、越谷市ボランティア連絡会に深いご理解とご協力、ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。総会を控え本部では、準備に取り掛かっています。早いもので今期も無事完了しますが、これも皆様のご協力あってのことと感謝いたします。例会のお声掛けも多く頂き、各グループの問題点・学び・要望を一緒に考えていくことができ、大変うれしく思います。また私たちのボランティア活動を次世代に繋げていくという趣旨を、みんなが共有し考え、活動していく体制ができていると確信しました。今後は、若い世代にどのようにアプローチして行くか、啓蒙、啓発を、皆様といっしょに、立案していきたいと思っております。

寒暖差ある時期ですが、実り多き新たな春を迎えられますよう願っております。

★新旧正・副代表者会

日時 令和7年4月18日(金)
13:30~
会場 中央市民会館 5階 第4~6会議室
内容 ・総会に向けて
・役員の変更について 他

※各グループの提出書類については、裏面に詳細を載せました。期限までに提出をお願いします。

※提出期限 3月21日(金)

★令和7年度定期総会

日時 令和7年4月25日(金)
13:30~
会場 中央市民会館 4階 第15~18会議室
内容 ・令和6年度事業報告、決算報告
・令和7年度事業報告(案)、予算(案) 他

★会計監査

日時 令和7年4月7日(月)
10:00~
会場 こばと館 作業室

★新しいグループが誕生!

4月から「傾聴ボランティア こしがや」が活動を始めます。

高齢者施設を訪問し、利用者さんのお気持ちに寄り添い(ありのままに)(否定せずに)(話を受け止める)など傾聴ボランティアの原則に則った活動をしていきます。関心のある方、ぜひ一緒に活動しましょう。

★ご寄付をいただきました

手づくりの会から貴重なご寄付をいただきました。V連の運営に使わせていただきます。

下記の書類の提出をお願い致します。

提出書類	注意事項	提出期限
令和6年度活動報告	活動が3月21日以後にある場合は終了後	3月21日(金)
令和7年度グループ名簿	令和6年度の名簿の見直し <ul style="list-style-type: none"> お渡し済みの名簿に、入退会・住所変更等を記入し提出してください。 (訂正箇所は赤線で消す) 令和7年度の代表者に◎、副代表者に○を赤印で名前の頭につける。 	
令和7年度活動予定表	・地域交流グループは提出済み。	
グループ研修費報告書	研修内容と収支報告書	
グループ研修費申請書	申請書に研修内容などを記入	
グループ例会報告書	6年度グループ例会を行ったグループ	

※提出書類は、2月25日(火)の正・副代表者会にて配布済みです。

※提出書類は、活動室のボードに貼ってある袋に入れてください。

★「ばそこんKV」からのお願い

ばそこんKVでは、毎月V連の予定や報告を「ぼらんていあ会報」にてお知らせしていますが、他に各グループの紹介など、ホットな話題がありましたら是非お寄せください。掲載させていただきます。

記事は、活動室のボードに貼ってある「ばそこんKV」の袋に入れてください。

★「荻島ふじばかま」グループ例会の報告

今年度は参加者が増えてうれしく思っています。半面ボランティアが少なく、食事づくりや、食材費の値上がりで大変な時もありました。

交流については『朗読ボランティア「さなえ」』や「こしがや腹笑会」の方々をお呼びし、楽しいひと時を過ごしました。また越谷市地域包括支援センターの方に「認知症予防」のお話をさせていただき、ゲームをしながらの勉強会をしました。

★各グループのチラシ製作について

グループ名、内容が変更になったグループは新しいチラシの製作をお願いします。

ばそこんKVに依頼することも可能です。希望されるグループはVセンターまでご連絡ください。

★ホームページ掲載の写真について

ホームページに掲載されている写真は大変古くなっています。活動状況の写真などに変更したいグループはボランティアセンターにご連絡ください。

☎ 966-3211

★ご存じですか？



今年度は昭和から数えて100年になることをご存じですか？テレビからは、当時流行した歌から現在までの楽曲や歌が歌番組で流れることが、このところ多くなりました。その時々時代の背景を思い出し思わず口ずさんでいます。元気をもらえ、頑張れる歌が、時代は幾度変わって来ても人々は忘れないで歌っています。美空ひばり、石原裕次郎、藤山一郎、春日八郎、三橋美智也、島倉千代子等々の、歌を若い歌手がカバーして歌っています。歌は時を超えて受け継がれる遺産ではないでしょうか。